

- 「平成」に幕「令和」幕開け
- 平成天皇皇后三重県伊勢行幸啓
- 新天皇皇后愛知県植樹祭行幸啓



月刊 アムス

チャップリン

2019年(令和1年)

7月15日

第34巻3通巻210号

昭和62年5月22日第三種郵便物認可

¥200 1・4・7・10月 15日発行

発行人 株式会社アムス 〒173-0027東京都板橋区南町62-7スカイコートK. 1階

『平成』に幕『令和』の幕開け

宮殿・長和殿のベランダに並び国民の祝意に応えられる天皇・皇后両陛下



新天皇陛下が5月1日、皇太子から即位され、前陛下は4月30日、退位・宮殿「松の間」で、即位礼正殿の儀に臨み、在位中最後の挨拶で「象徴としての私を受け入れ、支えてくれた国民に、心から感謝します。明日(あす)から始まる新しい令和の時代が、平和で実り多くあることを、皇后と共に心から願います。ここに我が国と世界の人々の安寧と幸せを祈ります。」と述べた。前陛下は85歳。全公務から退かれ「平成」が終わる。退位による天皇代替わりは江戸時代の光格天皇

新天皇陛下即位「国民思い寄り添う」

以来、約二百年ぶりと成る。皇太子が新天皇に即位され「令和」の時代が幕が開く。新天皇59歳の5月1日、皇居・宮殿「松の間」で、即位礼正殿の儀に臨まれ、天皇としての国民に対する初めのおことばで「この身に負った重責を思うと、肅然たる思いがします。」と、また「自己の研究に励むとともに、常に国民を思い、国民に寄り添いながら、憲法にのっとり、日本国および日本国民統合の象徴としての責務を果たすことを誓い、国民の幸せと国の一層の発展、そして世界の平和を切に希望します。」と述べた。

5月4日、新天皇陛下の即位を祝う一般参賀が皇居でおこなわれた。新天皇、新皇后両陛下、他皇族方が宮殿・長和殿のベランダに並び、手を振って祝意に応えられた。天皇陛下はモーニング姿、皇后陛下は鶯色の襟周りに刺繍を施したドレス姿でお出になられた。10時から始まった一般参賀は約1時間おきに計6回行われ、宮内庁によると参賀者数は14万人を超えた。



東日本パイロット協会



災害ボランティア フライース・レスキューチーム
〒989-4504
宮城県栗原市蒲町小深沢232-1 電話 0228-36-2717



羽ばたけ東北

伊勢神宮退位報告「親謁の儀」

平成31年4月18日、平成の天皇・皇后両陛下が4月末の天皇陛下の退位を伊勢神宮に報告される「親謁の儀」が厳かに行われた。両陛下にとつて、在位中最後の地方訪問となった。17日皇居を出発し、内宮に宿泊。18日は、午前には外宮、午後には内宮を参拝「神宮に親謁の儀」後、志摩市へ向かい、志摩観光ホテルに宿泊。19日は、午前中賢島駅を出発し、午後皇居へ戻られた。三重県には平成26年3月の神宮御参拝以来、約5年ぶりであり、皇太子殿下時代も合わせると15回目の御来県となった。



新天皇即位後初行幸啓「愛知県」



令和元年6月2日、第70回全国植樹祭が愛知県で開催され、新天皇は即位後初の地方訪問となった。天皇、皇后両陛下は苗木を植える「お手を植え」や、種子をまく「お手まき」をされた。それぞれの県にゆかりの深い樹種が選ばれた。

特定非営利活動法人 社会生活促進援護会

山梨県笛吹市一宮町南野呂394番地1号
電話 0553-47-2236